

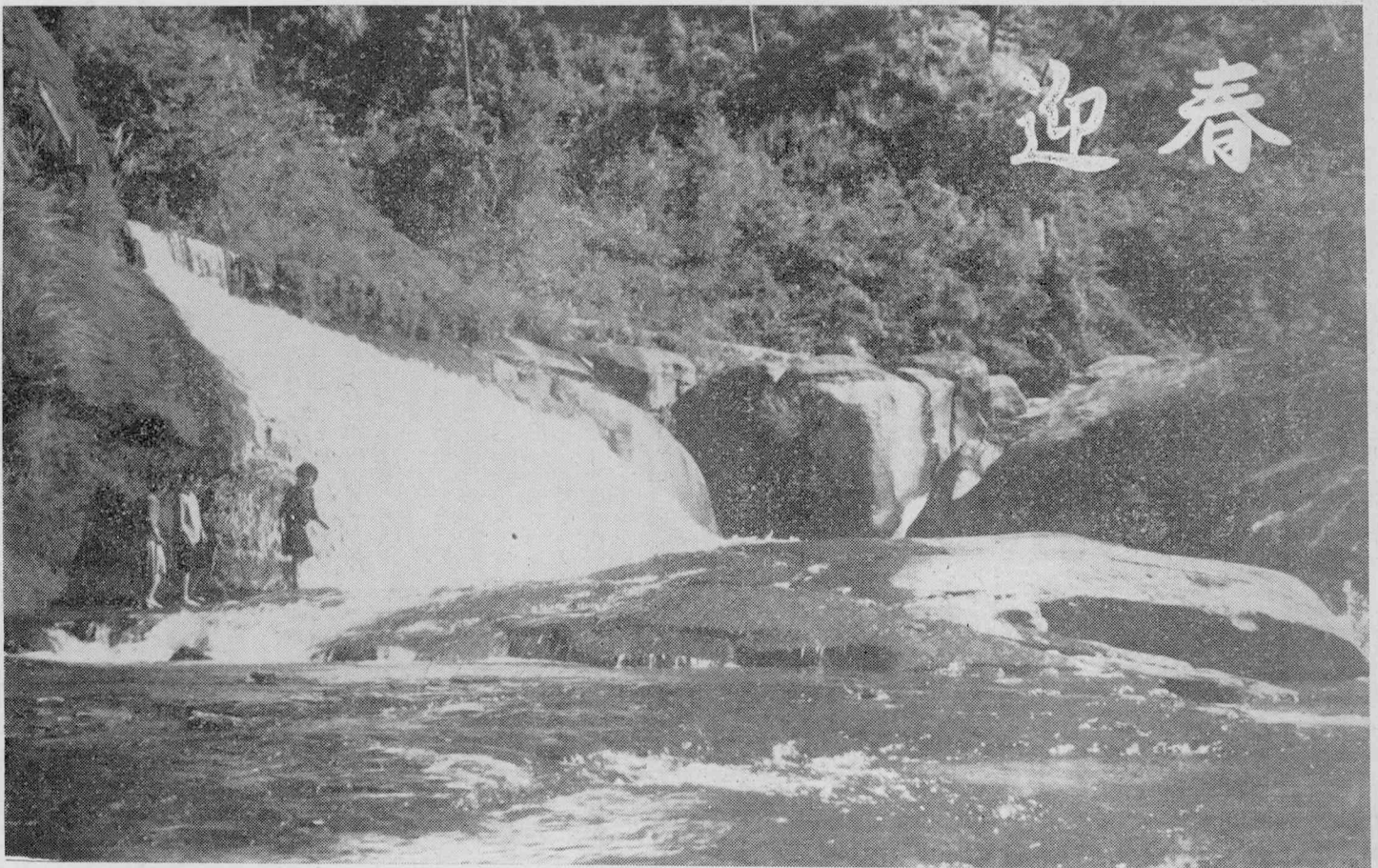
1965

大根占 おのゝめ

昭和40年1月1日 No. 133

編集と発行 鹿児島県 肝属郡 大根占町役場 総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254)
印刷 大根占印刷所 (電話 70)

町の人口 (39年12月1日現在 推計人口)
男6,089人 女6,926人 計13,015
前の月より34人減



(神川上流 椅山)

新春を迎えて

町長 坂元 左武郎

新年おめでとう

ございます。

ことしの正月は、このごろにない不況のうちに明けました。経済界も、金づまり、倒産は、中小企業から、相当の資本力をもつ中堅企業にまで波及する形勢であります。わたくしたちの南大隅地方では、県内でも最も大きな災害を受け、冬作から夏作まで病虫害、災害、農産物価の不安定と、何一つよい条件はなく、年間を通じて、このような不況が続いたことは、まれであろうと思います。これに加えて、水産業も不振で、商店街も売れ行きが振



り、災害の善後策、事務に忙殺され、事業の着手がおくれておりますが、年度内完成をめざして努力するつもりでございます。

「開放体制」下のもと、農林漁業をとりまく諸条件が、

年頭に当って

議長 本釜 清

明けまして、おめでとうございませう。

「一年の計は元旦にあり」という諺がありますが、凶作の年こそ、計画が必要ではないかと思ひます。

農家は、相次ぐ台風によって農家経済は、益々苦しい立場に追いこまれ、この一年間を如何にして、家計を支え、生産設計をたてなければならぬか、その御心労をお察し申し上げる次第であります。

経営規模の大小を問わず、離農者、又は出稼者が増加し農家人口は、益々減少しつつあります。

この窮乏の年に当り、私共



議会としても、まず町政の姿勢を正し、勇気と決断をもって救済対策を講じなければならぬと、痛感する次第であります。

ります。町政は、今や、幾多の問題が山積し、鹿児島交通バスセンター、農協合併、農業構造改善、区画整理事業、港湾問題等を解決しなければならぬ重大な時期に直面しているのです。

町の繁栄は、上から与えら

大きく好転することは望めそうにもありません。また、台風災害は、ことしもあるものとして考えないわけにはゆきません。そこで、わたくしたちは、昨年の苦しい体験を生かして、防災対策、経営のあり方を考えなおしてみることがあるかと思ひます。

町政の面では、既定方針どおり、農業構造改善事業、区画整理事業をおし進めるとともに、教育、社会福祉と量、質ともに向上を計って参りたいと思ひます。新しい年を迎えるに当り、ことしは、まず昨年の災害復旧と、事後の改善策に全力をあげ、四月からの新年度からは、さらに町勢の増進を期して、みなさまとともに、諸施策を講じてゆきたいと思ひます。

ことしも、お元気で、御尽力をお願い申し上げます。

れるものでなく、計画のもとに、自から研究し、努力して勝ちとることを考える必要があるのではないかと思ひます。時代の進歩は、めざましく個人競争の時代は過ぎ去り、農家の力を結集しなければ、現在の自由経済の中にあつては益々、脱落者がでてくるのではないかと思ひます。私もこの難局に直面し、新しい町造りに専念し、住民の福祉を増進することが議会に課せられた使命でありますので町に對しても、町政に對する指針を与え、農政を基盤とした議会活動を行い、町政発展のために微力ながら最大の努力を傾注する覚悟であります今後ともよろしく、御協力を御願ひ申し上げ新年の御挨拶といたします。

補正
四六一万円

町道編入など議決

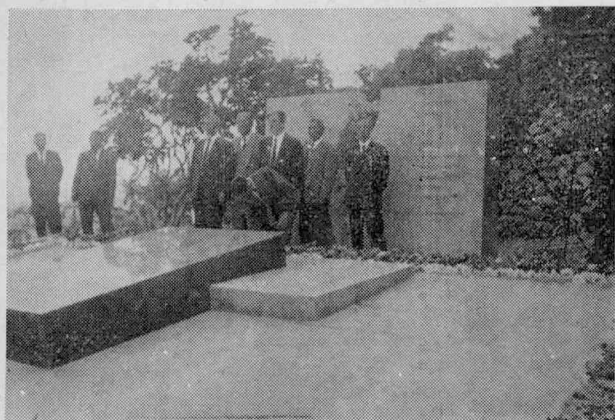
12月定例町議会

第一〇回定例町議会は、二月一八日招集され、二〇日閉会しました。そのあらましをお知らせします。

●町道編入の件 原案に決定
大久保線 平均中員四・六メートル、延長一二六メートル
岩元中央線 四・六メートル、三七〇メートル
寺前線 四・六メートル、二七〇メートル
坂の上城線 五・六メートル、六三〇メートル
大谷線 四・六メートル、六六〇メートル
以上を町道に編入、三号線に決定する。

●町道認定線である段中野線中員四メートル、延長三〇三

写真は、「安らかに」の碑
右端が矢野助役



「安らかに」の除幕式に参列して

助役 矢野 清

沖繩戦線で戦没された、県出身者二、五七六柱の英霊を祭る「安らかに」の碑が完工し、その除幕式が一月二二日現地で行なわれました。町長に代って参列しましたので、そのようを御報告申し上げます。

一行は、遺族をはじめ、県下の市町村長、議長など一九四名、「ひめゆり丸」で現地向いました。那覇入港前、本島の沖合で海上慰霊祭が行なわれ、同船した茨城県、滋賀県の遺族の方々と一しよに甲板に上り、祭壇を設けて祭事のあと、一分間の黙とうを捧げ、船は一回転して汽笛を鳴らし、海中に供物や、花束を投下して、厳しめに祭典を終りました。

船は、鹿児島を出てから二〇時間、一九日朝八時那覇に入港、一時過ぎ上陸しました。

翌二〇日、バスに分乗して、本島を、大体一周の形で見学しました。いたるところでアメリカ軍の施設がみられ、農作物は、南部は砂糖キビ、北部はパインの栽培が盛んのように見えました。この砂糖キビも、大隅地方の甘しさと同じで、値が安いということでした。

二二日は、除幕式が一〇時半から行なわれるので、現地向い途中、本島南部、糸満町方面の幾多悲惨な戦跡を視察しました。この一帯が、沖繩戦線終末の地で、有名な、ひめゆりの塔、健児の塔、あひめゆりの塔、遺骨三万五千余を祭るこんべぎの塔など、バスガイドの熱心な説明には、涙なくしては聞かれない思いでありました。

バスは、定刻「安らかに」の碑の現場に到着、知事夫妻

今回、補正した才出のおもなものは、財産費八四万円（土地購入費、負担金など）老人ホームの電話、電気工事費二四万円、失業対策事業費三八万円（用地費、補償費ほか）構造改善事業調査設計費一二〇万円、たばこ連作災害防止、專業化促進補助四三万円、農道大牧線開設補助一五万円、中原、本渡地区用水路災害復旧費一〇五万円、学校災害復旧費一九万円、などとなつています。

●池田中学校の校庭拡張、技術教室の着工促進、総合家庭教室の予算化についての陳情

●南大隅高校の急増対策による暫定学級を、そのまゝ増置するよう県へ陳情してほしい

郡、四ヶ町のPTA、中学校からの陳情

●県生乳給食推進協議会からの生牛乳を学校給食に大中にとり入れるよう、国や県に要望するよう決議してほしいという陳情

●採択しないことに決定理由 生乳を給食に使用し、給食単価が高くなり、父兄の負担が重くなる。不作、不況の折でもあり、現状では無理のようである。

●神川中学校PTAからの音楽教室を作してほしい。郡及び町のPTA連絡協議会からの教育費の予算を増額してほしい。

●二件は、総務委員会に付託。

新刊が、はいりました。正月に、ゆっくりお読み下さい

●一般図書

盗まれた影 白い屋根型船 うち潮女家族 東洋の魔女の五年間 さ迷える魂 十字路 傷だらけの山河 課長昇進 きつね美女 夕日と拳銃 砂の上に 忍びからず 銀色の牙 日蓮 北の詩人 櫻物語 日高山伏物語 死を見つめる心 お助け河岸 今夜の鬼 鬼課の人 お江戸日本橋 流るる雲 徳川家康(20) 凍れる樹 雲流れる剣 奇跡の妻 生命とはなにか 三蔵から六蔵までのしつけ すばらしき三蔵 人間を語る 流るる星は生きている 江戸さくら 野ざらし姫 自動車運転免許のとり方 破戒裁判 坊

つちゃん社員 九州うまい店はだかの楽屋 恐喝 神経が図太くなる 誤差 風流奉行 河のほとり 恋染の笠 このをを残して 夢見る沼 逃亡列車 焔の貴人 一騎当千 若い仲間 極楽一丁目 世界経済リポート ほんくら天

図書館

●児童図書

ギリシア神話 ロビンソン漂流記 聖書物語 名探偵ホームズ アンクルトム物語 ト

ムソーヤーの冒険 王子とこじき 小公子 小公女 名犬ラッシー 赤毛のアン 愛の一家 飛ぶ教室 アルプスの少女 三銃士 巖窟王 家なき子 怪盗ルパン ビーチャとゆかいな仲間 クオレレ 西遊記 日本神話物語 源平盛衰記 大閼記 八犬伝 ロビンソンの冒険 シートンの動物記 家なき娘 海底二万里 鉄仮面 怪盗ルパン(2) 三国志 水滸伝 義経物語 藤原物語 ジャングルブック 覆面の騎士 黄金虫 美しいポリー ハックルベリーの冒険 名探偵ルコッ おちやめなピッツ 失われた世界 紅はこべ なぞの宇宙人 狼犬バリー せむしの男 アヤの秘宝 ゆうれい船 さらわれた少年 地底人間 怪人と巨人 田のおもかげ 町からきた少女 さすらいの少女 夢みる天使 少女のいのり 母のいのり 母のつばさ あらしの中の兄弟 次郎物語 わんぱく時代 野菊の墓

次に、持参した、菊花が参加者全員に渡され、碑のまわりをかこむように捧げて、冥福を祈り、式は終了しました。

私は、半下石川の上流で採取した玉石を、町出身戦没者二六柱にちなみ、二六個持つてゆきましたので、碑の前面の花束などを供えるところにその白い玉石を捧げ、この神聖な霊域に、永久に二六人の英霊と共に神鎮まり賜うよう祈念いたしました。

沖繩は、全島サンゴ礁から

なっており、ここ神聖なる「安らかに」の附近一帯もサンゴ礁を砕石して敷かれております。帰りには、その砕石を集め持ち帰ることにしました。食糧弾薬の尽きた日本兵の誰かが、或いは、大根占出身のどなたか、疲れ果て、腰をおろしたかもしれない石、また我々の同胞がつまづいたかもしれないなどと、当時の激烈な戦争のことを思い浮べながら、二六個の石を用意の風呂敷に包みました。

「安らかに」の碑に行く道路の途中は、各様の碑、塔が並び、その終点に広場があり駐車場になっています。広場から、少し上った所に「安らかに」の碑が設けられ、そこを上った所の附近の一番高い所に、司令官島中将の碑「黎明の塔」が設けられております。

こゝは本島最南端、左に太平洋右に東支那海を望むサンゴ礁の断がいの上で後方は一段低く、一面砂糖キビ畑がひらけ風光に富んだ一大観光地とも云えましよう。

この地域でも我々の鹿児島県の碑は最もよい場所に設けられております。

除幕式終了後帰路につき激しかった戦跡を後にするに当りバスガイドの音頭で君が代の合唱を行い一分間の黙とうを捧げて、戦没軍人六万四千余柱沖繩島民十萬三千余柱の霊魂の冥福を祈りつゝ霊域に別れを告げました。



ことしも明るく元気にすごしたいのですが、一年の計は元且にあり」ということわざのとおり、何か一つ大きな目標を立てて、年始回りの必要のあるところは早目にすませ、先方に伺っても長時間ねばらないように。

「どうぞゆつくり」ということばには、多少のお世辞がまじっているものと考えて、あまりめいわくをかけるにうちに、きれいに引きあげることが好まれるコツです。

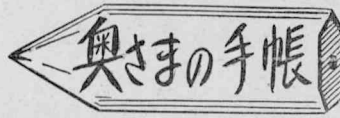
◆ 一月の健康

お正月はとかく生活が不規則になり、食べすぎ、飲みすぎ、夜ふかしなど、健康の方が忘れられがち。また炭火による中毒事故の多いのもこの月です。

とくに、かぜをほっておいで肺炎になったり、老人の中風などがおこりやすい季節です。すから十分注意を。それからとかく軽く考えられがちなか「せき」について、もっと関心を持つ必要があらります。せきはとくに子どもさんにはありふれたことなので、見過されてしまします。

せきがでるからといって、せき止めを与えればよいというものではなくて、せきの原因をお医者さんに確かめてもらうことが先決。老人のせきも同様でとしよりにせきはつきものだからに考えがちですが、これも危険で、うつかりすると老人性結核というような場合があるそうです。

自分たはたもちだからとかげんそくが持病だからなどといつてはつたらかしておくと案外、家族内感染源としてたいへんな結果を招くおそれがあるということです。



◆ 厳寒時の食事

野菜類も不足勝ちな時期でビタミンCのとり方も不十分になります。これが極端に不足すると壊血病にかかりますし、カゼをひきやすくなったりします。このビタミンCを補うのにいちばんの代表は、ミカンと大根おろし、一日一個のミカンと一日一回の大根おろしはかせない食品です。また、寒いときはビタミンBの消費がたかまるといわれます。

これを補うのに豆類がいちばんです。とくに落花生はすぐれています。一日十つぶでよいということ。ただ注意したいことは、ふとり気味の人、血圧の高い人、心臓の弱い人は、油類をとりすぎると、かえって逆効果。

年齢や体質を考えて、合理的な食事を。

●晴れ着を着る機会が多い時よこれやしみはまずその種類を確かめてから。まず、最初に、ぬるま湯をガーゼにふくませ、しみやよごれの上からたたきようにし、いったん乾かして、しょうゆ、酒などは温水石けん水、おしろい、コーヒ―などはベンジン、えりあかはアルコール、果汁はアンモニア水でおとしします。

感想文集をつくる

宿小の親子20分読書

宿利原小学校では、ことしの四月、県立図書館地方奉仕課の指導と、町公民館の協力で「親子20分読書運動」をはじめました。そして、このほど写真のような「感想文集」を発行しました。

この20分読書をやった成果として、1、本が好きなようになった。2、よく勉強するようになった。3、よく話し合うようになった。親子の理解を深めるのに役立つ。など、非常によい結果をもたらしています。公民館では、この運動をすすめるために、学校に協力して、座談会、映画会などを開いたりしましたが、さらに、この運動を他の校区にもひろげてゆきたいといっています。

▼感想文集の中から▲
夜のどくしよ

二年(女子)
わたくしは、まいばん二十分間どくしよをしています。わたくしがよんでいると、おとうさんやおかあさんは、おしごとをしながら聞いています。しごとがすむとおとうさんもおかあさんもなかにいって、しよにかぞくそろ



きます。わたしもまげずにじぶんのかんがえたことをいいます。おねえさんとわたしが一しょうけんめいになつていいあつてるとき、おとうさんや、おかあさんは、だまつてわらってきいています。

わたしはおしみに「おとうさんはなんとおもしろい。ときくと、「そうだね、おまえたのいっているのはみなただしいだよ。」といっています。おかあさんは、いつもおしみに、しよかな声でじぶんのかんがえをはなします。わたくしは、とてもたのしくうれしいです。

二十分のが、ときには三十分ぐらいになるところがあります。すんでから本をしまふときは、あすのばんがたのしみです。

防犯灯

六〇コを設置

大根占警察署が中心となつて、この五月、町、九州電力防犯組合連合会などで「防犯灯で、街を明るくする運動推進協議会」が設けられました。以来各機関が協力して、町では、電柱を無償で提供、九電の協力などもあつて、この一月末までに、二〇の部落で六〇コの防犯灯が設置されました。他の町でも、根占四九

佐多一九、田代一がつけられています。警察では、つけられた防犯灯を、みんな、こわれないよう協力を望んでおり、来年も増設に努力することにしていきます。

◆ 行政相談 ◆
国や、県、町の行政上のことで、不満や不服、その他何でも、塩屋の村山仲助さんが行政相談委員として相談に応じています。ごえんりやなくいつでも相談してください。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません



今月の農作業

ことしの計画を立てる。

農事一般

1、昭和39年度は農家の厄年でしたが、ことしはこれに負けないよう頑張りました。

1 月中に経営の計画を。何を中心にして経営するか？販売は？種子は？等種々問題があります。役場経済課や農協指導課に相談しましょう。

2、防災のためにも稲作等は早期に切りかえる。みかん等の果樹類も防風垣の育成に努めよう。このため、1月から計画的に資金資材種子等の手配を。

果 樹

防寒設備の完備を急ごう
越冬貝殻虫類防除のための機械油
乳剤2.5~3%（油分）の散布をや
ろう。越冬ダニの駆除を行いまし
ょう。幼稚園の品評会審査を1月
中に行います。管理を充分してい
てください。

そさい

防寒施設の徹底。ばれいしょ、玉ねぎの除草剤散布、水田裏作さきは雑草がひどいので、できるだけ早くクロロ、アイピーシ(IPC)を反当250~300gを、水120ℓ(6斗~6斗5升)にうすめてかける。

花卉の栽培について

下場の水田、畑に温暖な気象を生かした花の栽培を考えるべきだが、県農業試験場の花卉専門の技師を招いて12月16日～17日にかけて現地検討、室内検討を行った。

それによると、花木の栽培、アカシヤ類、球根生産、輸出用の球根生産は、暖地産程良好である。そのうち、この地帯には、アマリス、黄色ヒガンバナ、水仙、ヒヤシンス、チューリップ等がよい。水田を利用する面では、アイリス

がよいだろう。なお、対岸の山川でやっているグラジオラスの抑制促成も連作害が現われ大隅に移行する時期に来ている。草花類ではストックがよいだろう。金せん花等も他の産地をしのぐ優品であるさらに、本町にある美人焦の栽培は有望であるが、生態的な研究をして、反当收穫本数の増大をはかるようにするため試験をして見たい。町では今あげた花卉類をさらに研究し、産地等の現地検討を進めて、来年度から栽培に入る予定である。

家畜の管理

1、1月に寒さがきびしいので防寒、日光浴の励行を第一に、またエンバク等の飼料作物の追肥は、刈り取ったら早速アンモニア等のN系のものを少量づつその都度やりましょう。

2、不時の事故や感冒が発生しています。注意してください。感冒の症状は、鼻汁が出る、食欲がなくなる。ぼんやりして、注意力が鈍くなる。熱が40度位になりますそして糞が固く小さくなりがちも赤黄味を帯びる。これらの症状は朝夕入ををしていればすぐ気付くことが出来ます。早期発見より早期予防。

3、1 月半に年間の家畜の改良更
新計画を樹てよう。肥育、生産、
育成、飼料について家族みんなで
話し合つて、経済性のある、もう
ける家畜の飼養を!!

飼料作物面積は大家畜（牛馬）
1頭につき夏場5アール、冬場7
アール位が適当でしょう。

うちは、戸は農業経営簿記を持っていることになる。だが持っていることゝ一年間記録することを意味するのではない。そのうちの半分以上は、年度半ばで記録をしないようになり結局一年中つけ通し、さらにその結果にもとづいて分析を加えるまで完全利用するのは数えるほど僅かなものではない。では、このように記

(1) 簿記の様式が複雑すぎる。そのため、記帳したり分類するのがめんどうである。

(2) 簿記のしくみを十分理解していない。したがって、記録の方法がわからない。また間違いが多い。

(3) 簿記の結果の利用方法を知らない。せっかく苦勞して記帳しても、これを使いこ

しているのは、普通のノートであるが、自分で工夫をこらして、必要なことはもれなく記録し、その結果を利用してあるあとがうかがえた。

したがって、簿記の様式が複雑ならば、自分の能力にあう程度に、自分の経営にあわせて記帳するようにすればよいのである。

という問題は、簿記記帳のうえで最も重要な問題である。現在、鹿児島県ですすめている農業経営簿記は、毎日の記録の結果を、月ごとに部門別に整理し、各作目のもうけを計算できるようにしている。農業経営は、いくつかの作物や家畜が組み合わさっているが、そのなかみをよく調べて

資料とは、生産物かたわりの生産量をあげているか、その生産をあげるために、生産の生産をどれほどつぎこんだか、資材の能率や機械の使用の効果はどうかになっているか、さらに生産費は高いのか低いのかに最終的にもうけがあがつたのかということなど、はっきりと数字のうえで確かめられるのである。このような資料に

手がるな方法で始めよう

なせない。

このような理由は、一応もつともであるがそれだから記帳できないということにはならない。

ある農家の例だが、この方は、もう五〇才を過ぎ、学歴は旧制の高小卒であるが十八才のときから、毎日記帳を欠かしたことがない。いま記帳

農業経営と

また、簿記のしくみがわからないから記録ができないという理由も、つけはじめのころは、しばらくまごつくこともあるが、現在の程度の簿記であれば、慣れるにつれて全体的のしくみがわかつてくる。決してとりつけないほどむずかしいものではない。最後にあげた、利用方法を知らない

みると、経営の柱になるような重要なものと、それほどでもない作目がある。もし、全部を記録するのが、とても面倒で、手におえないのであれば、わが家の経営を左右する重要な部門だけでもよいから記帳するように心がけたらどうだろう。

そうすれば、かなり突っこんだ記録も出来るし、その結果のまとまりも充実し、次

もとより、改善計画を樹立するならばいゆる「かん」に頼った計画よりもはるかにすぐれた効果を生み出せるはずである。要は、わが家の経営の改善のポイントを確実につかみ、経営を発展させるために簿記を利用すればよいのであるから、いまの経営にあわせて、しかも自己の記帳の能力のペースで実行に移してゆけばよい。

最後に、家族関係が複雑なため、記帳できないという声もしばしば耳にする。たとえまだ親がかりの青年の場合も農作業は一部または全部まかされているが「さいふ」は「おやじ」が握っている。した

がつて、金銭の出し入れはすべて「おやじ」の手を経て行なわれるため、配帳がうまくゆかないわけである。親の立場からみれば、息子の方にはあふなくてともまかされ、ない気持かも知れないが、息子が立派な農業者として成長し、あとをつぐためにはむしろ積極的に主要な部門については「さいふ」までまかせ、態度が必要ではあるまいか。記帳するための家族の話し合い記帳の結果にもとづく、家族ぐるみの経営会議などを持つことも簿記の効果をより一層高めるものであろう。

(大石康治「県技術普及課専門技師農業かこしま12月号」)

大根占町の発展は…農業の近代化から…
 農業の近代化は…先ず貯蓄から…貯金は
 あなたの農協へ！

大根占町農業構造改善事業資金結集運動

期日 昭和38年11月15日より
昭和39年1月31日まで



農家の資金を農協に結集し、しるわせを結集しましょう
(利率 年利4厘)

1口・1,000円…1ヶ年定期

おとての貯蓄方法に対する感謝の意味で1口1,000円のつぎ上北農産と事業共同貯蓄を奨励します。

抽せん日……抽せん当り

賞 品	数	名
等賞	本 数	品 名
特賞一等	1本	エバーライト・毛布一式
二等	2本	エバーライト
三等	4本	婦人用折畳式洋傘
四等	10本	敷布
五等	100本	絵手紙
六等	1,000本	化粧石鹸



大 根 占 町
 大根占町農業近代化資金結集協議会
 大根占町川 農業協同組合
後援：県信用農業協連・農科中央食産